



さまざまなツールやサービスを活用して顧客や自社の業務効率化を実現

企業のDX化を支援。自社の業務効率化や採用にも生かす

あすか税理士法人

札幌市中央区大通西14丁目1番14号 NEO BLD.2階
TEL: 011-2600-0022 <https://www.asuka-zeirishi.com/>

「あすか税理士法人」は、中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を支援。業務のプロセスやシステムの見直しに貢献している。

「DX化は市場にあるサービスを組み合わせただけでも効果がありません」と米田明広税理士。

例えば、情報共有や報告連絡にはチャットワーク、オンライン会議にはZOOM、ドキュメント管理にはドロップボックスなどがある。無料のサービスもあり電話やメールよりも迅速だ。クラウド会計を導入すれば経理の自動化ができる。ネットバンキングやカード決済などを組み合わせることでより効果を発揮する。

またTDS（証憑書類ストレージサービス）は、電子帳簿保存の時間を簡略化できる。

さらに「経理担当が辞めてしまった」「会計事務所が廃業した」という不測の事態にも対処できる。将来的には経理部を置

かないという選択肢も可能だ。

あすか税理士法人では、これらを活用して社内

のDX化を進める。例えば在宅勤務者に1人1台のモバイルパソコンとデュアルモニターを支給して打ち合わせや商談を効率化した。情報発信として公式ラインやユーチューブも活用する。

また、道内他事務所へ先駆けて分業化・専門化を進めている。特に「資産税部門」は有名だがこのほかDX化の一翼を担う「システム部門」には会計システムのベンダーで勤務したSEらが在籍する。「審理部門」では国税OBの税理士が複数おり、

税務調査の交渉で活躍している。これらは顧客のみならず、働き方改革や採用・育成面にも

職員向けの研修にも力を入れる



リットがある。不慣れな業務に当たることが減り、長時間労働や、それを原因とする離職がおきにくいからだ。

「万が一ミスがおきても、グループチャットを活用することで新入社員をフォローできる体制を整えています」と米田税理士。これによって採用も好調。現在は4人のインターン生を受け入れており、将来税理士を目指す社員が10人勤務している。

「税理士試験の合格には切磋琢磨できる仲間が必要です。DXを通じた働き方改革で働きながら学べる環境も構築できました」と米田税理士。